上尾市立大石中学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

○ 思いやりのある生徒
○ 自ら学ぶ生徒
○ 進んで身心を鍛える生徒

学校課題研究主題

「人間関係をよりよく形成するための
協働的な学びの充実」
-大石中学校区小中一貫教育を通して-

学力・学習状況調査の結果

R８全国学力・学習状況調査	R８埼玉県学力・学習状況調査	R７ 上尾市立小・中学校学力調査
・国語、数学ともに平均正答率は全国平均を上回っている。 ・国語では、表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる問題の正答率が高い。 ・数学では、箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる問題の正答率が高い。 ・英語３技能では、日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる問題の正答率が高い。	・学力レベルの平均は、国語が１～２レベル、数学が１～２レベル、英語が２レベル伸びている。 ・国語、数学、英語ともに、２・３年生においては、学力を伸ばした生徒の割合は埼玉県の平均を上回っている。 ・学習方略の努力調整方略の項目の数値が埼玉県と比較して高い。 ・学習方略の柔軟的方略とプランニング方略、作業方略、認知的方略の項目の数値、非認知能力の自制心・やりぬく力・向社会性の項目の数値が埼玉県と比較して同等である。	・国語では、話すこと・聞くこと、読むことに関する問題の正答率が全国平均を上回っている。 ・数学では、数と式・図形・関数のすべての領域で平均正答率が全国平均を上回っている。 ・英語では、聞くこと・読むこと・書くことに関する問題の正答率が全国平均を下回っている。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①知識を確実に習得し、既習事項と関連付けながら活用できる力。 ②基礎的・基本的な語彙力。	③未知の問題に対し、その解決のための方法を考える力。 ④自らの考えを、理由や根拠をもとに表現する力。	⑤主体的に学習に取り組み、自身の課題解決に向けて粘り強く取り組む力。 ⑥自らの学習を見通したり、振り返ったりする力。

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
○学習意欲を高め、基礎基本を確実に定着させる展開の工夫、改善。 ○身に付けた知識を相互に関連付けて深く理解させたり、知識を他の学習や生活の場面で活用させたりする発問や活動の工夫、改善。	○課題解決型の学習課題設定を通して、その解決方法の計画や検証から思考・判断させる工夫、改善。 ○協働的な学びを通して、目的や状況に応じて、理由や根拠をもとに意見交換させ、考えを深めて視野を広げさせる工夫、改善。	○主体的に学びに向かう仕掛け作りを意識した課題設定によって、一人一人の学びに向かう力を高める工夫、改善。 ○課題を明確化し、振り返りの時間を確保することで、本時の学習の整理を行う工夫、改善。

本校の特色ある取組	家庭教育との連携
○ＩＣＴを活用した学習指導の推進。 ○小中一貫教育の視点による中学校区内の小学校との情報交換と共通事項の設定。 ○学校課題研究を通した授業改善。	○シラバス等による情報公開。 ○さくら連絡網の活用。 ○家庭学習の推進。 ○アンケートの実施。

学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①知識を確実に習得し、既習事項と関連付けながら活用できる力。 ②基礎的・基本的な語彙力。	③未知の問題に対し、その解決のための方法を考える力。 ④自らの考えを、理由や根拠をもとに表現する力。	⑤主体的に学習に取り組み、自身の課題解決に向けて粘り強く取り組む力。 ⑥自らの学習を見通したり、振り返ったりする力。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	②⑥	②授業内で言葉の決まりや文章構造を反復・活用する場面を設け、全学年の共通課題の着実な改善を図る。 ⑥毎単元の終わりの振り返りで書いた文章を推敲する取組。	
社会	③⑥	③歴史など過去の事象を振り返りながら現代社会の諸課題を捉える取組。 ⑥単元を貫く課題を設定したり、単元を通して追求し解決を図ったりする、単元を通して見通しをもたせる取組。	
数学	①④	①演習や小テストの実施による、基本的な技能を定着させる取組。 ④学習節ごとに学習評価シートを用いて学習内容を文章化させ、現在の理解内容を振り返る取組。	
理科	①④	①実験や技能テストを通して実験技能を習得するとともに、既習事項の振り返りを行い、小テストを通して知識を定着させる取組。 ④レポート作成によって結果や既習事項から自らの考えを表現していく取組。	
外国語	②⑤	②新出単語・基本的文法事項を身に付けさせ、表現できる取組。 ⑤自己を振り返り、苦手分野を克服するために、４技能をバランスよく養う取組。	
音楽	①⑥	①歌唱や演奏を通して基本技能を習得し、既習事項や他者との意見共有を生かした表現の工夫を図る。 ⑥毎時間、演奏や発表、自己評価カードへの記述による振り返りを行い、理解の定着と主体的な学びにつなげる。	
美術	④	④鑑賞の授業やアイデアスケッチ、コンセプトシートの作成を通した、自分の考えを広げ、表現する取組。	
技術	④⑤	④授業支援アプリケーションや Web サービスを積極的に活用し、他者の考えを共有し自分の考えと比較しながら思考を広げられるようにする取組。 ⑤授業のねらいに対する自分の考えをまとめたり、学んだことを振り返ったりすることで、学習内容の理解を深め、次の学びにつなげる取組。	
家庭	③	③実習や制作をする場面を多く設定し、習得した知識・技能を活用して、話し合い活動を通じて課題解決する取組。	
保健体育	①⑤	①運動量を確保し、基本的な技能や動きを身に付けさせ技能テストを実施する取組。 ⑤練習方法の工夫をさせ、修正・改善できるよう声掛けや場の設定をする取組。	
特別の教科　道徳	⑥	⑥学習過程における主発問や学習を振り返る場面での問いかけを工夫し、自らの学習を見通したり、振り返ったりする力を育てる取組。 例）新たに気が付いたことは何ですか？学習に近い経験をしましたか？	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

（２）教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
○ＩＣＴ機器を活用した学習指導の推進	・一人一台のＩＣＴ端末を活用した授業の実施。 ・ＩＣＴを活用した多くの事例や課題の提示。 ・多くの人とつながって、自分の意見や考えを表現することができるコミュニケーションのためのツールとしての活用。 ・ＩＣＴの活用が目的にならない授業の確立。授業の目的のための手段であることを意識した授業作り。
○小中一貫教育の視点による中学校区内の小学校との情報交換と共通事項の設定	・小中合同職員研修、部活動交流、出前授業、生徒指導の情報交換等を通じた、計画的な９年間の連続性・継続性のある指導。 ・中１ギャップを極力減らし、不登校生徒を増やさないための、中学校区での対応。 ・大石中学校区における、学力、体力、特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健養護の分野での共通の取組。
○学校課題研究を通した授業改善	・協働的な学びを通した生徒の学習に対する主体性の向上。 ・表現力を高める手立てとしての、ＩＣＴ活用。
家庭教育との連携	
○シラバス等による情報公開	・各教科のシラバス（指導の方針、評価、年間指導計画）の学校ホームページへの掲載。 ・三者面談、保護者会、公開授業の実施。
○さくら連絡網の活用	・欠席生徒への担任からの連絡、翌日の予定の確認、学校からのお便りの配信等、本人・保護者の安心できる連絡体制。
○家庭学習の推進	・自主学習ノートによる家庭学習習慣の確立。 ・Chromebook を持ち帰って課題に取り組めるようにするための、校内のきまりの整備。
○アンケートの実施	・授業アンケートや生活アンケートを通した、生徒の実態把握と授業等の改善。